

1年生が「高志学」こども歴史文化館研修を行いました

令和5年6月1日(木)に、1年生がこども歴史文化館研修を実施しました。歴史的な「福井の資源(たから)」を見つけることを主な目的として実施しました。

はじめに「交流ひろば」で、本校の校名と同じ読みである越(こし)の説明を聞きました。越国は北陸の古代(飛鳥～平安)の名前で、都や近畿から山を越えたことが由来であること、また越国は、後に律令制に基づき越前、越中、越後に分かれたということを学びました。

「先人のひろば」では、古代から近現代までの福井にゆかりがある人物が取り上げられていました。「由利公正や橋本左内は知っているけれど、松平春嶽も福井の発展にとっても関わっている。」と、小学校で学んだことを発展させている生徒がいました。



「漢字ワールド」では、手のひらに映し出されるアニメーションを体験しながら白川文字を知り、新たな興味が芽生えている生徒もいました。

「科学ワールド」では、南部陽一郎先生が少年期を福井で過ごしたことに親近感を持ちながら、今後学ぶことになる原子や中性子といった粒子の世界の話

に真剣に耳を傾けていました。

今回の研修では、どの場面でも高志学ノートに自分が考えたことや新たに知ったことを詳細に書き込んでいました。福井について知らないことがまだまだ多いということがわかり、もっと調べてみたい、もっと見て回りたいという感想を多くの生徒が述べていました。

